



太陽活動の低下の原因とその地球への影響を調べるために、 SCOSTEP が VarSITI プログラムを開始

プレスリリース

2014年1月13日発信用

報道連絡先：Nat Gopalswamy (SCOSTEP 理事長、NASA, nat.gopalswamy@nasa.gov), Marianna Shepherd (SCOSTEP 事務局長、カナダ・ヨーク大学, mshepher@yorku.ca)

国際太陽地球系物理学・科学委員会 (SCOSTEP) は新しい科学プログラム VarSITI (太陽活動変動とその地球への影響) を 2014 年 1 月 13 日から開始します。世界中の太陽地球系科学の科学者がこの VarSITI プログラムに参加して、なぜ近年の太陽活動がどのように低下しているのか、そしてそれが地球とその周辺の宇宙環境にどのように影響があるか、を理解するための研究を行います。VarSITI は国際協同プログラムで、2014-2018 年の 5 年間、継続します。

SCOSTEP は国際科学委員会 (ICSU) 傘下の国際組織です。ICSU のモットーは「社会の利益になるための国際的な科学を強化する」というものです、SCOSTEP はこの中で、地球上の生命や社会に関連した太陽地球系科学に関する組織です。VarSITI の成果は、太陽活動の変化が地球温暖化などの気候変動にどのように影響を与えるか、など、地球上の生命や社会が太陽から受ける影響をより良く理解することに貢献します。また、測位衛星や通信衛星などの宇宙空間の人工天体を安全に信頼をもって運用することにも貢献します。

2013 年に成功裏に終了した SCOSTEP のプログラム CAWSES (太陽地球系の天気と気候) のあとを受けて、VarSITI プログラムは、科学探査がはじまって以来最も低調な太陽活動に注目して研究を推進します。

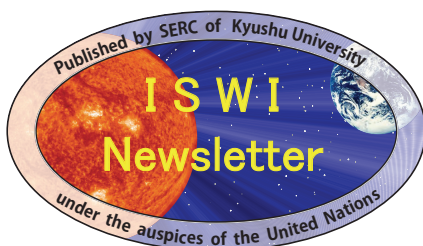
VarSITI プログラムは、2013 年に行われた国際科学コミュニティの協力体制に関する国際的な議論の中で形成されてきました。VarSITI プログラムには、1) 太陽磁場と極端現象、2) 地球に影響を与える太陽の過渡現象、3) 内部磁気圏の変動、4) 地球大気のプロセス、の 4 つのテーマがあります。これらのテーマを研究していくために、国際的な著名研究者がリーダーを務める 4 つのプロジェクトが推進されます。

世界各国で取得・開発されているデータ、モデル、理論を通じた太陽地球系科学に関するこの国際的な連携を続けて行くことが強く望まれています。SCOSTEP は特に、学生や発展途上国の研究者がこの VarSITI プログラムへ参加することを強く支援します。

それぞれの VarSITI のプロジェクトの元で、さまざまなワーキンググループが形成されます。このプログラムへの参加を希望される研究者・学生の方は、VarSITI の co-chair Katya Georgieva (katyageorgieva@msn.com) か Kazuo Shiokawa (shiokawa@stelab.nagoya-u.ac.jp) にご連絡下さい。

VarSITI に関する Web サイトは www.varsiti.org になります。

以上



This pdf circulated in
Volume 6, Number 006,
on 13 January 2014.